

会 議 事 録

1 会議名	令和6年度第2回長岡市水族博物館協議会
2 開催日時	令和7年2月26日（水） 午後3時から午後4時30分まで
3 開催場所	長岡市寺泊文化センター（はまなす） 3階 大研修室
4 出席者名	協議会委員 柳下委員長、大浦方副委員長、池浦委員、川上委員、駒形委員 佐藤委員、品田委員、清水委員、家後委員 委員以外の出席者 近藤寺泊支所長 （事務局＝科学博物館） 金垣参事（科学博物館長）、神保科学博物館長補佐 小熊寺泊水族博物館長、矢引主査、蝶名林技師 田中会計年度任用職員
5 欠席者名	なし
6 議題	報告 （1）令和6年度事業実施状況について （2）令和7年度事業実施計画について （3）水族博物館整備事業の計画（概要）について
7 審議結果の概要	（1）令和6年度事業実施状況について 概要を事務局より報告 （2）令和7年度事業実施計画について 概要を事務局より説明 （3）水族博物館整備事業の計画（概要）について 概要を事務局より説明

8 審議の内容	
事務局	<p>(1) 令和6年度事業実施状況について (資料により説明)</p> <p>補足として、鳥インフルエンザの対応がある。令和6年10月に市内で回収された野鳥から鳥インフルエンザの陽性反応が出た。これを受けて寺泊水族博物館では、対応基準となる野鳥監視重点区域に含まれていなかったことから開館を継続するとともに、ペンギンプールへの野鳥飛来防止のための防鳥ネットを設置、玄関やペンギンプール周辺の消毒、出入り口に消毒マットを設置する等の対応を行った。その後も防鳥ネットは継続して設置している。</p> <p>主な意見は次のとおり</p>
委員長	<p>協議会で報告を聞くたびに、より新しいものを考え工夫している姿に感心する。</p>
委員	<p>受付にあるペンギンの置物について、衣装が職員の手作りと聞いてとてもすてきだと思った。大回遊水槽に設置されたリースのところに、バレンタインにちなんだハート型の用紙があり、メッセージが書かれたもので装飾していたが、若い人は写真を撮りたがるので、近くに設置されたフォトスタンドも含めて良い案だと思う。クリスマスに訪れた際はバルーンの飾り付けがあり、館内の雰囲気明るくなったように感じた。</p> <p>友人が寺泊水族博物館の公式アプリでスタンプを貯めようとしたが、アプリの撮影で取得できるQRコードを、通常のQRコード読み取りアプリを使ってしまい上手くできなかった、と言っていた。若い人はQRコードをまず読み取りアプリで読み取ってしまうため、スタンプの取得方法が少しわかりづらいかもしれない。</p> <p>学芸員の仕事として、漂着生物の解剖等について公式Xに投稿されていたが、一般的にはわからないことを知ることができてよいと思った</p>
委員	<p>9月に3、4年生の子どもと水族館に訪れた。1時間という限られた時間だったが、子供たちは夢中になって生物を見て回り、その後は3階外の遊具で遊んだり、職員手作りのペンギンの被り物をかぶって写真を撮っていた。見るだけではない体験もでき、1時間たっぷり楽しむことができた。子どもが来て楽しめる工夫があつてよいと感じた。</p>

委員	<p>以前までは無かったと思うが、レシート下部に割引についてわかりやすく表示されるようになっていた。ついついレシートを捨ててしまうので、そういったものがあると割引のことを思い出せて助かる。</p>
委員長	<p>今日の午前中に知人が自宅に来ていたが、子どもを連れて度々寺泊水族博物館に行くらしく、飽きずに一回りできてちょうどいい規模だと言っていた。いつも協議会で話が出ているが、大きいことがよいということではない。</p>
委員	<p>議題を拝見して、教育機関として子どもが喜ぶようなことをやっていて、それがまた次世代の研究等、興味をもってどこまでも展開していく子どもたちの下地を作っていると思う。議題には詳しく書いていないが、漂着生物の調査等もしっかりやっているようで、感銘を受けた。実施状況について、白黒で構わないので写真も添付してほしい。</p>
委員	<p>将来的に公式アプリでの割引は考えているのか。アプリで来館した日が分かるので、レシートを失くしても大丈夫ではないかと思った。私のようにレシートを誤って捨ててしまう人は助かると思う。</p>
事務局	<p>紙のスタンプカードを使用していた頃、レシートの代わりに割引として使用する案はあった。しかし、こちらの都合ではあるが、レシート割引の有効期限は半年、スタンプカードは1年間で期限に違いがあることを理由に断念した。しかし、実際レシートではなくスタンプカードを割引として保存している方が多かった。</p>
委員	<p>アプリ内ではスタンプを押した日付が表示されているので、アプリの方でも割引に対応してくれると個人的に助かる。</p>
事務局	<p>まだ公式アプリを稼働して1年経っていないので、いただいた意見を参考によく検証して、改良の余地を探していきたい。</p>
事務局	<p>スタンプを読み込んだ際にチケットクーポンを発行するということはできるので、そっちの方がアプリを持っている人にはわかりやすいのかなと思う。その辺に関してはまた検討させてほしい。</p>
委員長	<p>漁業組合の協力も多く受けていると聞いた。今の時期はどうか。</p>

委員	<p>今の時期は海に出られないため、提供できる魚が獲れていない。</p>
委員	<p>公式アプリがどんどん進化していて、公式ホームページも見させてもらっているが、動画での宣伝はしていないのか。例えば、バックヤードツアーに行きたいけれど内容がよくわからないという人も、全編ではなくていいので動いている映像があると興味が湧くと思う。今後動画をアップロードできるようであれば検討してみたらどうか。</p> <p>私の友人は現在八景島シーパラダイスの近くに住んでいるが、帰省の度に子どもと何度も寺泊水族博物館に来ているらしい。子どもが言うには、八景島シーパラダイスより寺泊水族博物館の方がワクワクして楽しいとのことだった。理由を尋ねてみると、タカアシガニ等、日本海の大きい水族館にはいない生物がおり、いつ来ても新鮮だからと言っていた。県外にもこういった寺泊水族博物館を好きな人はいるので、動画を配信できたりしたらよいと思った。</p>
委員	<p>去年の秋に他市の水族館に行ってきたが、そこで少し残念だったことがあった。大水槽で展示されている魚が、3割とはいかないくらいの割合でヒレが千切れている魚が多く、展示しておくのはどうかと思った。最近では寺泊水族博物館を訪れていないのでわからないが、飼育状況によって魚に食害があるのかどうか。</p>
事務局	<p>生体の中には気が強く他の生体をつつくものがある。見栄えなど水族館側の都合で、本来一緒に生息していない生体と展示していると、そのような事態になる。個体によって個性があり、気が強くなってしまっているものもいるため、他の生体への食害が絶対に起こらないとは言えないが、寺泊水族博物館では気を付けて展示している。</p>
事務局	<p>定期的に観察し、そういったことが起こらないよう気を付けたい。</p>
副委員長	<p>まさに魚の専門家といった意見が出たが、ぜひ寺泊水族博物館の水槽もチェックしてもらい、専門家から見た意見を次回の協議会で聞かせてもらいたい。</p>
事務局	<p>(2) 令和7年度事業実施計画について (資料により説明)</p>

<p>委員</p>	<p>主な意見は次のとおり。</p> <p>6、7月くらいに子どもたちが長岡市を探検する行事に同行したが、子どもたちが喜びすぎて時間をオーバーしてしまい、そのあとまた寺泊水族博物館に行きたいと言っていた。その後1月に名古屋港水族館に行ってきた。とても大きくて広かったが、何故か子どもたちはすぐに飽きてしまった。おそらく1つ1つの場所が離れていたため疲れてしまったようだ。このことから、先ほどの話のとおり寺泊水族博物館の規模は大きくないが、子どもたちにとってはちょうどいい場所と感じ、職員の皆さんが努力されているからと思いながら話を聞いていた。</p> <p>今日水族博物館協議会に行くことを職場で話したら、ドクターフィッシュはどうなったのか聞いてきてほしいと頼まれていたので、今後の実施が難しいと聞いて残念に思う。</p> <p>スマートフォンの扱いが苦手なため、公式アプリでスタンプの貯め方がわかりにくいと感じた。餌やり体験ができる水族館はなかなか無いため、公式ホームページを開いたときに大きく表示されると興味を引くと思う。しかし、現在のホームページでは、どこからアプリやスタンプにつながるのかわかりづらかった。</p> <p>職場体験について、昨年度2学年の先生から、寺泊水族博物館では受け入れをしていないと聞いていたが、問い合わせしたところやっていると回答をもらったという。おそらく一度断られたため、そもそも受け入れをしていないととらえたようで、都度受入していることを周知した方がよいと思った。</p>
<p>委員</p>	<p>今日の説明を聞いて飼育員の熱を感じたが、普通に暮らしているとその熱が上手く伝わらないのが悔しいと感じる。先ほど動画の話が出たが、飼育員の生の声を発信してほしい。漂着生物の調査について、他の水族館が行っているのは知っていたが、寺泊水族博物館でもやっていることは初めて知った。研究機関としての博物館であることの周知として、それらの情報をもっと発信してはどうか。</p> <p>飼育員の労働環境について、いろんな提案をすればするほど頑張ってくれと思うが、長岡市で職員の数を増やしたりはしてもらえないのだろうか。メディアで情報発信するとしても、何をするにしても手間がかかるし、飼育員は生体の管理を行わなければならない。我々が要望をどんどん出していった上で、職員の数足りているのか疑問に感じる。子どもたちが見に行くのにポップ等があると嬉しいが、飼育</p>

副委員長	<p>員たちが潰れてしまっはどうしようもないので、市として寺泊水族博物館を盛り上げていこうと市長が考えてくれるのであれば、職員の数を増やし、全体で盛り上げていきたいと思った。</p>
事務局	<p>人員についての話が出たが、それについて話が聞きたい。</p>
事務局	<p>(寺泊水族博物館の組織・人員体制等について説明)</p>
事務局	<p>ドクターフィッシュの足湯体験に使用していた場所は、元々ヒトゲやウニに直接触れるタッチプールとして使用していた。しかし、屋根が無く直射日光や雨にさらされる場所で、近年の猛暑により水温が35℃を超えてしまうようになったことや、新型コロナウイルス感染症の流行もあり、大勢が一斉に手足を入れたりすることで消毒が間に合わないため中止していた。さらに中止期間に水漏れやポンプの故障があり、修理が難しく現在は水が張れない状態になってしまっている。</p>
事務局	<p>設備、環境の両面で問題があり、残念だがまた別の方策を考えていきたい。</p>
事務局	<p>(3) 水族博物館整備事業の計画(概要)について (資料により説明)</p> <p>大河津分水改修に係る寺泊海浜地の関連工事が早まるようである。今後は寺泊支所と連携しながら、国や県の情報や動向をよく確認し、それに合わせて寺泊水族博物館の新しい方向を考えていきたい</p>
寺泊支所長	<p>主な意見は次のとおり。</p> <p>寺泊水族博物館と連携していくことはもちろんだが、かなり広いエリアがある中でどう活用していくかということについては、本庁含め寺泊支所、寺泊水族博物館以外にも、観光的な要素等いろいろな可能性があるので、国の動きを確認しながら計画を考えていかなければならないと思っている。</p>
副委員長	<p>先ほど話に出た名古屋港水族館は、南館と北館に分かれる巨大な美術館といったイメージで、シャチやベルーガ、皇帝ペンギンなどの生体を展示する日本有数の水族館である。広大な館内に巨大な水槽が並</p>

び、大人がデートスポットとして訪れるのであれば楽しめる水族館であるが、小さな子どもでは館内を全部見るだけで疲れはててしまうだろうということは容易に想像できる。日本有数の水族館よりも寺泊水族博物館の方が楽しいというお子さんの意見には非常に共感した。

飼育員の熱意を感じるが、それにばかり期待して燃え尽きてしまっ
ては困るという話も出た。組織の在り方については、これだけの水族館を館長含め11名で運営しており、館長を除く正規職員が2名、会計年度任用職員が8名とのことである。世の中の流れと言ってしまうとそれまでだが、会計年度任用職員は安定した契約ではない。年度末の度に来年自分が更新されるのか不安があると思う。だからといってすべて正規職員にできるほど市政が豊かではないのはわかるが、水族館という組織を考えてみると、非常に専門性が高く、人員が欠けたからといってすぐに欠員を別の人員で補うといったことは難しい職場である。寺泊町立の時代から働かれていた前館長が退職されて、長い歴史を知る方が現在いなくなっている。市による職員の異動等によって職員が変わることは、水族館の継続性という意味でも危うい状態にあるのではないかと危惧している。

ここで同じ意見を10年間出し続けてきた。水族館や動物園は展示生物を見せているが、それを飼育展示しているのは人である。その人が熱く来館者に何を見せたいかという思いがあってこそ、その水族館が輝いているかわかってくる。単に餌をやって飼育していればいいということではなく、どのように見せるかという人の工夫によって成り立っている部分がある。動物園と水族館の大きな違いは、水族館というのは一種のプラントであるということ。引いてきた海水をろ過しながら、常に水槽をきれいに保っておかなければならず、海水を使うため劣化も激しい。表に見えているのはほんの一部で、後ろにポンプやろ過器がある巨大な工場であり、管理するのが非常に大変。そういう意味で、すぐに新しい水族館はできないにしても、人を育ててほしいと意見してきたが、はたして今うまく回っているのか、少し疑問に思う。何のために長岡市は水族館を運営していくのか、何を指すのかといったところをきちんと考えるためにも、まずは水族館の職員を充実させなくてはいけない。魚も育てなければいけないが、人も育てなければいけないということを、これまで言い続けてきたが、意見が届いているのか疑問に感じた部分があったため、強調させていただいた。

委員長

気を付けなければいけないことだが、砂を知らない人が運営するの

	<p>はよくない。大河津分水から押し寄せてくる砂対策をしっかりしてほしい。私の子どもの頃は、寺泊文化センターまで通ってきた道が波打ち際だった。砂対策を除いてはどこに水族館を作ってもダメである。</p>
副委員長	<p>どこに建てようかという話が現実化するのであれば、その部分はよく検討したうえで決めていかなければならない。</p>
委員長	<p>取水方法も関係してくるため、絶対に忘れてはならない。</p>
委員	<p>行きつけの美容室の美容員さんは推しの缶バッジを着け、全体の先生も顔写真とともに自分の推しを書いている。飼育員も現在の推し生物を水槽に貼ったり、入り口にイラストと展示場所とともに掲示することで熱意を示し、興味を引くことができるのではないかと思った。</p>
事務局	<p>先にご意見いただいた寺泊水族博物館の体制等について、現在職員の募集・採用を検討している。来年度に向けて職員の体制を整えていきたい。</p> <p>なお、寺泊水族博物館が加入する日本動物園水族館協会では、これからの動物園・水族館のありかたについて将来構想の原案ができたので、園館を利用している市民の方々からの意見を集めてほしいと案内が来ている。水族館のことをよく考えていただいている委員の皆様にも、ホームページ等からご協力いただけるとありがたい。</p>
事務局	<p>博物館法改正に伴い、今まで登録博物館だった館も、県の基準に則った書類等の提出が無ければ登録が外れることとなっている。かなり膨大な資料を用意しなければならない。</p> <p>猶予期間が5年あるが、来年度の登録を目指して寺泊水族博物館でも準備を進めることになる。登録博物館というのは国から認められたひとつの施設ということになるので、補助金等の特典はないが、体制はしっかり維持していきたいと考えている。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
9 会議資料	別添のとおり